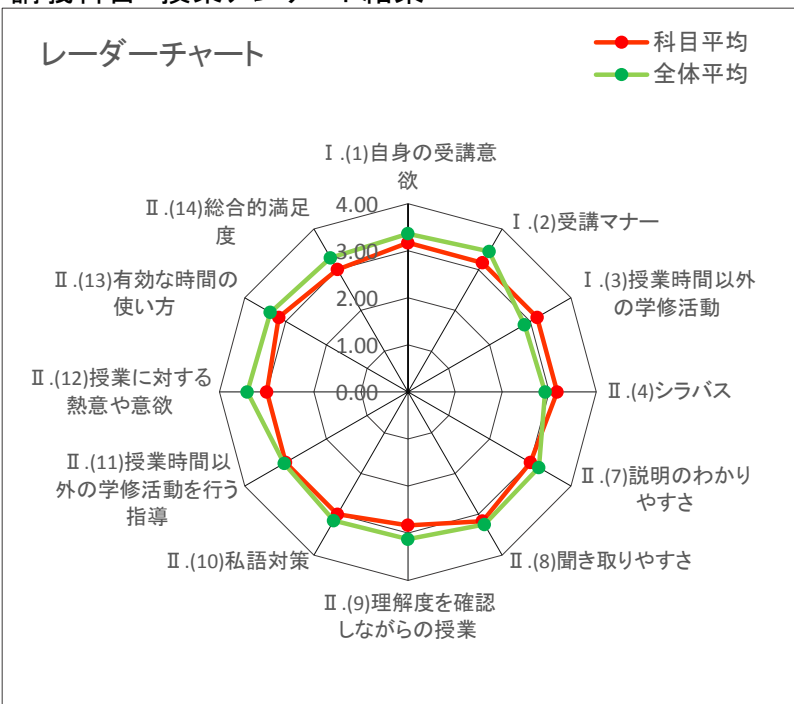
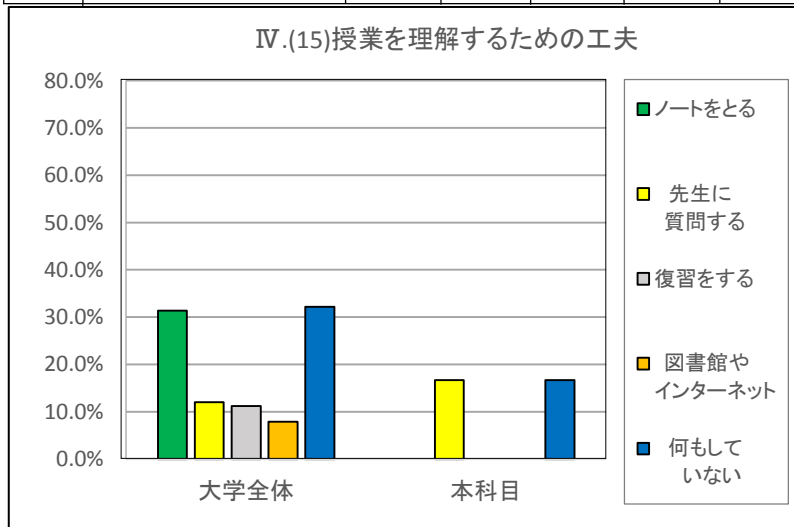


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.17	3.36
	I.(2)	3.17	3.45
	I.(3)	3.17	2.86
受講内容・方法	II.(4)	3.17	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.00	3.21
	II.(8)	3.17	3.25
	II.(9)	2.83	3.13
	II.(10)	3.00	3.16
	II.(11)	3.00	3.04
	II.(12)	3.00	3.41
	II.(13)	3.17	3.37
	満足度	II.(14)	3.00

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.17	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.04	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.00	3.29
III.(14)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	33304
科目名	ITスキルアップ I
教員名	

①授業計画の達成度について
 難易度が高いとする学生と、難易度が低いとする学生が並存するのは、クラスの実態を反映している。日商PC検定3級とベーシックでは、かなり水準が異なる。この点を見極めることが重要である。演習は、ベーシックに傾斜したため、そのレベルより上の学生には難易度が低い、下の学生には高いと評価されたであろう。演習方式のため、全体指導と個別指導が的確に組み合わせられる必要があるが、最終目標の各自による設定が妥当な学生と、そうでない学生により、最終達成度が別れた。各自の力量を客観化できた学生は希望の結果を得たが、そうでない者は不満足であろう。

②授業の進め方について
 授業は、本試験に備えて、課題と模擬テストを担当者と学生が共に解答を模索する方式で行われたので、実践的ではあったが、試験までの期間が短くなかったので、途中中だるみも見受けられた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 受講者の少なくない学生が、試験レベルを誤認していたので、その調整に後期には力を入れたい。